

令和元年度第2回岡山県和牛改良委員会 議事概要

- 1 日 時 令和元年10月21日(火) 13:30～
- 2 場 所 全農岡山県本部総合家畜市場(真庭市草加部)
- 3 出席者 委員: 9名 事務局: 4名
- 4 諮問事項

(1) 直接検定終了牛等の措置について

今回、直接検定が終了した2頭及び12月に終了する2頭についての措置案が示された。

直接検定が終了した2頭のうち、先ず「藤観月」は、期待育種価、ゲノミック育種価ともに低く、発育が劣るとともに、今回から示された脂肪の質の期待育種価が低いため、去勢後肥育されることとされた。「清泉丸」は父牛の第12西丸号の脂肪の質の育種価が高いことから、脂肪の質の改良を期待して作出したが、直接検定終了時の体型が過大であること、期待育種価及びゲノミック育種価が低いことから、去勢後肥育されることとされた。

次に、直接検定終了予定の2頭のうち、「新糸藤」は体積・均称に優れるが期待育種価、ゲノミック育種価ともに低いため、去勢後肥育することとされた。「藤広花」は、やや均称に劣るものの、ゲノミック育種価に優れていることから選抜することとした。

(2) 後代検定終了牛の措置について

【百合高】

検定牛22頭すべての検定が終了した。肉質は雌でばらつきが大きく、平均もやや低い。肉量では、ロース芯面積がやや小さく、皮下脂肪がやや厚い。血統から期待される肉用が足りず、肉質も既選抜のものに劣り、脂肪の質も県平均より低いことから、淘汰することとされた。

(3) 第12回全国和牛能力共進会について

- ・事務局から、第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会の6～8区に係る候補牛の作出に係る会議を10月29日に実施する旨の説明があった。また、6区(総合評価牛群区)の種牛作出のため、7月に開催された出品委員会において、全国和牛登録協会岡山県支部から対象母牛リストが配布されているので、種付け可能な牛を各地域で調査していただき、県出品対策協議会から必要な凍結精液を配布していきたい。

(4) その他

- ・脂肪酸組成の育種価の公表について

令和元年11月1日から岡山県第50回産肉能力育種価に脂肪酸組成育種価を併記していくこととした旨の提案が事務局からあり、異議なく承認された。数値は筋間脂肪に占めるオレイン酸及び MUFA の割合についての育種価、ランク、及びσ値とする。